

復興庁

平成31年度行政事業レビュー事業単位整理表兼点検結果の平成32年度予算概算要求への反映状況調査表

Table with columns for project name, budget, execution status, and impact. Includes sub-sections like '復興支援に係る施策の推進' and '経済財政政策の推進'. Rows 0001-0021 detail various recovery and support programs.

様式1

別添1

※平成31年度以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成30年度補正後予算額	平成30年度		外部関係者の意見	行政事業レビュー推進チームの所見		令和01年度当初予算額 A	令和02年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部署	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号				外部関係者点検対象(公開プロセスマネジメント等による場合、理由を記載)	委託費	補助金等	基金											
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容					1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合															
0022	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備	H25	H32	21	6	1	執行率が著しく低い。実績を踏まえ、予算規模の適正化をはかること。令和2年度の事業終了にむけ、進捗管理を適切に行い、効果的・効率的な執行に努めること。	事業内容の一部改善	平成30年度の執行率が17%と著しく低い。適性基準を導入する段階の災害等及の進捗を踏まえつつ、効果的な執行に努めること。	1	20	18	-	現状通り	当該事業は、経費のほとんどを定価により翌年度に繰り越しており、繰越した事業については、不明瞭のみが平成30年度決算として整理されたため、執行率が低くなったもの。そのため、事業全体の執行率は75%である。今後とも適性基準を導入する段階の災害等及の進捗を踏まえ、適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効果的な予算の執行に努めていく。	内閣府(警察庁)において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)治安復興事業費(事項)警察活動基盤の整備に必要な経費	復興庁	-	0022	-	-	-	-	-	-	その他								
0023	災害警備活動に係る装備資機材の校正	H25	H32	91	91	90	令和2年度の事業終了にむけ、効果的・効率的な執行に努める。引続き、予算規模の適正化に努めること。	現状通り	被災地の治安維持の観点から復旧に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算を執行すること。	6	24	19	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効果的な予算の執行に努めていく。	内閣府(警察庁)において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)治安復興事業費(事項)警察活動基盤の整備に必要な経費	復興庁	-	0023	-	-	-	-	-	-	その他								
0024	災害警備活動に係る活動旅費等	H25	H30	233	233	212	計画通り終了することは適当。事業の検証を行い、成果や知見の活用をはかること。	終了予定	当該事業は終了するが、得られた知見・成果は他の事業にも活用していくこと。	-	0	-	-	予定通り終了	これまでの事業において得られた知見・成果を他の事業にも活用していくこととする。	内閣府(警察庁)において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)治安復興事業費(事項)警察活動基盤の整備に必要な経費	復興庁	-	0024	-	-	-	-	-	-	その他								
施策名：2. 地域警察官による街頭活動及び初動警備活動の強化																																					
	都道府県警察長補給金(被災地)【30-0020の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	都道府県警察施設災害復旧費補助金(交通関連は除く)【30-0021の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備【30-0022の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る装備資機材の校正【30-0023の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る活動旅費等【30-0024の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
施策名：3. 悪質商法等の防止及び環境破壊等の防止																																					
	都道府県警察長補給金(被災地)【30-0020の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	都道府県警察施設災害復旧費補助金(交通関連は除く)【30-0021の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備【30-0022の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る装備資機材の校正【30-0023の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る活動旅費等【30-0024の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
施策名：II. 犯罪捜査の的確な推進																																					
施策名：1. 重要犯罪・重要容疑者の検挙向上																																					
	都道府県警察長補給金(被災地)【30-0020の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	都道府県警察施設災害復旧費補助金(交通関連は除く)【30-0021の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備【30-0022の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る装備資機材の校正【30-0023の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る活動旅費等【30-0024の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
施策名：2. 政治・行政・経済の構造的不正の是正の強化																																					
	都道府県警察長補給金(被災地)【30-0020の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	都道府県警察施設災害復旧費補助金(交通関連は除く)【30-0021の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備【30-0022の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る装備資機材の校正【30-0023の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る活動旅費等【30-0024の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
施策名：3. 振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の捜査活動及び予防活動の強化																																					
	都道府県警察長補給金(被災地)【30-0020の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	都道府県警察施設災害復旧費補助金(交通関連は除く)【30-0021の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備【30-0022の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る装備資機材の校正【30-0023の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る活動旅費等【30-0024の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
施策名：4. 捜査への科学技術の活用																																					
	都道府県警察長補給金(被災地)【30-0020の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	都道府県警察施設災害復旧費補助金(交通関連は除く)【30-0021の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備【30-0022の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る装備資機材の校正【30-0023の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る活動旅費等【30-0024の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
施策名：5. 被疑者取調べの適正化																																					
	都道府県警察長補給金(被災地)【30-0020の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	都道府県警察施設災害復旧費補助金(交通関連は除く)【30-0021の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備【30-0022の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る装備資機材の校正【30-0023の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								
	災害警備活動に係る活動旅費等【30-0024の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																								

※平成31年度以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成30年度 補正予算	平成30年度		外部関係者の見解	行政事業レビュー推進チームの見解		令和01年度 当初予算額 A	令和02年度 要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部署	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号				外部関係者点検対象 (公開プロセスマット) 該当数となる場合、理由を記載	委託費	補助金等	基金					
					執行可能額	執行額		評価結果	見解の概要				反映額	反映内容					1つ目	2つ目	3つ目	3つを超える場合									
政策名：VI. 犯罪被害者等の支援の充実																															
施策名：1. 犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実																															
	都道府県警察員補助金(被災地) 【30-0020の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																		
	都道府県警察施設災害復旧費補助金(交通関連除く) 【30-0021の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																		
	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備 【30-0022の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																		
	災害警備活動に係る装備資機材の校正 【30-0023の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																		
	災害警備活動に係る活動旅費等 【30-0024の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																		
政策名：VII. 安心できるIT社会の実現																															
施策名：1. サイバーセキュリティの確保とサイバー犯罪・サイバー攻撃の防止																															
	都道府県警察員補助金(被災地) 【30-0020の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																		
	都道府県警察施設災害復旧費補助金(交通関連除く) 【30-0021の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																		
	災害復旧に係る警察情報通信基盤の整備 【30-0022の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																		
	災害警備活動に係る装備資機材の校正 【30-0023の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																		
	災害警備活動に係る活動旅費等 【30-0024の再掲】			-	-	-				-	0	-	-																		
いずれの施策にも関連しないもの																															
0025	交通警察に係る補助金事業(被災地)	H24	未定	460	461	448	対象外	現状通り	被災地の治安維持の観点から復旧に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算を執行すること。	295	556	260	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効率的・効果的な予算の執行に努めている。	内閣府(警察庁)において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)治安復興事業費 (事項)安全かつ快適な交通の確保に必要な経費	復興庁	-	0025	-	-	-	-	-	-	平成29年度対象		○
政策名：機動的施策																															
施策名：2. 業務継続体制の確立と災害への対応																															
0026	金融機能安定・円滑化復興事業	H24	H32	12	12	5	対象外	現状通り	執行率が低いことを踏まえ、予算要求に当たっては事業規模の精査を行うこと。事業終了に向けて、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	7	1	▲6	▲6	縮減	・直近の執行状況等を踏まえ、32年度概算要求では金額を縮減している。 ・引き続き、当該事業の制度の利用状況等を踏まえ、適切に予算へ反映していく。 ・被災者支援施設に係る告知広報等の支出の削減については、引き続き一般競争契約を実施するなど、今後も適切な契約手続きに努めている。	内閣府(金融庁)において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)金融機能安定・円滑化復興事業費 (事項)金融政策推進に必要な経費	復興庁	-	0026	-	-	-	-	-	平成30年度対象		○	
0027	東日本大震災被害者再生支援機構への出資金	H30	H30	9,340	9,340	9,340	終了予定	終了予定	(株)東日本大震災被害者再生支援機構の支援について、支援内容や事業進捗体制等の効果検証を継続的に実施し、被災地企業等の事業再生に向け、検証結果を踏まえた効果的な支援を引き続き丁寧に行うとともに、効率的な業務運営を実施していくこと。	-	0	-	-	予定通り終了	計画通り、平成30年度で終了。	内閣府(金融庁)において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)金融機能安定・円滑化復興事業費 (事項)金融政策推進に必要な経費	復興庁	新30	-	0002	-	-	-	-	前年度新規			
政策名：1. 消費者政策の推進																															
施策名：(4) 地方消費者行政の推進																															
0028	地方消費者行政のための事業に必要な経費	H24	未定	482	482	391	対象外	現状通り	消費者行政の回復に資する必要性の高い事業である。引き続き、効率性に留意しつつ予算規模の適正化に努めること。また、今後の復興・復旧の状況を見据え事業の経期について検討すること。	374	-	-	-	現状通り	消費者行政の回復に取り組んでいるところである。引き続き、効率性に留意しつつ予算の執行に努めている。また、今後の復興・復旧の状況を見据え事業の経期について検討していきたい。	内閣府(消費者庁)において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)消費生活復興事業費 (事項)消費者政策に必要な経費	復興庁	-	0027	-	-	-	-	-	平成30年度対象		○	
政策名：V. 情報通信(ICT)政策																															
施策名：2. 情報通信技術高度利活用の推進																															
0029	被災地域情報化推進事業	H24	未定	21	111	42	対象外	現状通り	被災自治体の情報通信技術(ICT)を活用した復旧・復興に係る取り組みへの支援を、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めるとともに事業の経期についても検討すること。また、平成30年度の執行率が低いことを踏まえ、予算要求に当たっては予算規模の適正化を行うこと。	55	29	▲27	-	現状通り	執行状況及び事業規模を精査し、引き続き効率的な予算の執行に努めている。 また、事業の経期については、復興の状況及び被災者のニーズを踏まえ令和元年度以降執行していくこととした。	総務省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)生活基盤行政復興事業費 (事項)情報通信技術の活用高度化に必要な経費	復興庁	-	0028	-	-	-	-	-	平成29年度対象	○	○	
施策名：4. 情報通信技術利活用の整備																															
0030	情報通信基盤災害復旧事業員補助金	H24	未定	17	43	30	対象外	現状通り	引き続き復旧事業の執行状況を精査し、予算要求にあたっては予算規模の適正化を行うこと。また、復興の状況を見据え事業の経期について検討を行うこと。	48	14	▲34	-	現状通り	執行状況及び事業規模を精査し、引き続き効率的な予算の執行に努めている。 また、事業の経期については、復興の状況及び被災者のニーズを踏まえ令和元年度以降執行していくこととした。	総務省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)生活基盤行政復興事業費 (事項)情報通信技術の活用高度化に必要な経費	復興庁	-	0029	-	-	-	-	-	平成30年度対象		○	
政策名：VII. 国民生活と安心・安全																															
施策名：4. 消防防災体制の充実強化																															
0031	消防防災施設等の災害復旧に必要な経費	H24	未定	1,493	1,679	1,331	現状通り	現状通り	引き続き復旧事業の執行状況を精査し、適切な予算規模を精査すること。また、震災発生直後と比較した状況の変化を踏まえ、事業の経期について検討を行うこと。	2,253	407	▲1,846	-	現状通り	事業の目的である消防防災施設及び消防防災設備の復旧に向け、引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めている。 また、事業の経期については、復興の状況を見据え事業の経期について検討を行うこととした。	総務省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)生活基盤行政復興事業費 (事項)消防防災体制等の整備に必要な経費	復興庁	-	0030	-	-	-	-	-	その他		○	
0032	福島第一原子力発電所事故に伴う避難指示区域での消防活動等に要する経費(原子力災害避難指示区域消防活動費交付金)	H25	未定	202	202	169	現状通り	現状通り	引き続き、ニーズを的確に把握し、効果的・効率的な執行に努めること。 また、震災発生直後と比較した状況の変化を踏まえ、事業の経期について検討を行うこと。	403	280	▲122	-	現状通り	引き続き、効率的な予算の執行に努めている。 また、事業の経期については、復興の状況及び被災者のニーズを踏まえ令和元年度以降執行していくこととした。	総務省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)生活基盤行政復興事業費 (事項)消防防災体制等の整備に必要な経費	復興庁	-	0031	-	-	-	-	-	その他		○	
0033	緊急消防援助隊の出動経費(緊急消防援助隊活動費交付金)	H25	H35	39	39	32	現状通り	現状通り	引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進め、予算要求にあたっては予算規模の適正化を行うこと。	16	100	85	-	現状通り	本事業は、ヘリコプターエンジン分解し輸送が必要と認められた場合に執行されるものである。分解は、国土交通省の指示に従って実施されている。また、震災発生直後と比較した状況の変化を踏まえ、事業の経期について検討を行うこと。	総務省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)生活基盤行政復興事業費 (事項)消防防災体制等の整備に必要な経費	復興庁	-	0032	-	-	-	-	-	その他		○	
政策名：2. 司法制度改革の成果の定着に向けた取組																															
施策名：(1) 総合法律支援の充実強化																															
0034	震災に起因する法的紛争の解決に関する情報提供業務・民法法務扶助業務の実施	H25	未定	611	611	611	現状通り	現状通り	本事業に対するニーズを十分に精査した上で、引き続き効率性に留意して予算の執行に努め、被災者等のニーズを的確に把握し、引き続き、効果的・効率的な執行に努めること。	607	573	▲34	-	現状通り	震災発生直後と比較した状況の変化を踏まえ、事業の経期について検討を行うこと。また、被災者等のニーズを踏まえ令和元年度以降執行していくこととした。	総務省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)東日本大震災復興日本司法支援センター運営費 (事項)東日本大震災復興に係る日本司法支援センター運営費交付金に必要な経費	復興庁	-	0033	-	-	-	-	-	その他			
政策名：10. 国民の財産や身分関係の保護																															
施策名：(1) 登記事務の適正円滑な処理																															
0035	登記事務処理の適正・迅速な実施	H25	未定	96	96	84	現状通り	現状通り	本事業に対するニーズを十分に精査した上で、引き続き効率性に留意して予算の執行に努め、被災者等のニーズを的確に把握し、引き続き、効果的・効率的な執行に努めること。	93	88	▲5	-	現状通り	登記申請の増加が見込まれることから、令和2年度の予算要求においても令和元年度予算とおおむね同額の要求を行った。	法務省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)法務行政復興事業費 (事項)登記事務処理に必要な経費	復興庁	-	0034	-	-	-	-	-	その他			
政策名：15. 法務行政全般の円滑かつ効率的な運営																															
施策名：(2) 施設の整備																															

※平成31年度以降の表記は、新元号に換えることとする。

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成30年度補正予算	平成30年度		外部関係者の意見	行政事業レビュー推進チームの意見		令和01年度当初予算額 A	令和02年度要求額 B	差引き B-A=C	反映状況				備考	担当部署	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号				外部関係者点検対象(公認プロフェッショナル)等との関係、理由を記載	委託費	補助金等	基金				
					執行可能額	執行額		評価結果	所見の概要				反映額	反映内容	1つ目	2つ目					3つ目	3つを超える場合										
政策名：7 政府関係金融機関等の適正かつ効率的な運営の確保																																
0037	東日本大震災復興特別交付金等実施事業	H24	未定	3,200	3,200	3,200	対象外	現状通り	引き続き、ニーズを的確に把握し、効果的、効率的な執行に努めること。	2,080	3,000	▲700	-	現状通り	-	財務省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)財務関係金融機関の運営に必要な経費	復興庁	-	0036	-	-	-	-	-	-	平成30年度対象			
政策名：1 新しい時代に向けた教育政策の推進																																
施策名：5 家庭・地域の教育力の向上																																
0038	公立学校施設改善復旧費	H24	H32	3,732	8,449	6,034		現状通り	令和2年度の事業終了に向け、進捗管理を適切に行い、効果的、効率的な執行に努めること。	2,590	1,449	▲1,141	-	現状通り	東日本大震災等によって被害を受けた公立学校施設の復旧や施設改善の推進等により、学校教育の円滑な実施を確保するとし、事業目的の達成に向け、引き続き効果的、効率的な予算の執行に努めている。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)公立学校施設整備に必要な経費 (事項)学校施設の整備推進に必要な経費	復興庁	-	0037	-	-	-	-	-	-	その他			
0039	公立社会教育施設改善復旧事業	H25	H32	2,053	2,056	1,232	対象外	現状通り	引き続き、進捗管理を適切に行い、効果的、効率的な執行に努めること。	6,143	9,917	3,774	-	現状通り	引き続き効果的、効率的な予算の執行に努めていく。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)公立社会教育施設整備に必要な経費 (事項)地域の教育力の向上に必要な経費	復興庁	-	0038	-	-	-	-	-	-	平成30年度対象			
0040	福島原子力災害避難区域教育復興事業	H26	H31	3,558	3,138	3,138	対象外	現状通り	引き続き、ニーズを的確に把握し、効果的、効率的な執行に努めること。	235	0	▲235	-	予定通り終了	本事業は平成31年度をもって予定通り終了とする。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)福島の教育力の向上に必要な経費 (事項)公立社会教育施設整備に必要な経費	復興庁	-	0039	-	-	-	-	-	-	平成30年度対象			
0041	福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業	H30	H32	236	236	210		現状通り	成果目標のうち①(県内就職希望者割合)及び②(産科・産後・数字コンテスト参加者数)について、進捗が示されていないので、明確に表示すること。また、福島イノベーション・コースト構想に関する他の事業(所管庁を問わず)との連携を図り、事業目的達成のため、引き続き、ニーズを的確に把握し、効果的、効率的な執行に努めること。	334	347	14	-	現状通り	成果目標のうち①(県内就職希望者割合)については、平成30年度から新たに取得した指標であるため、今回は前年度比を示さないが年度別実施計画に記載し、②(産科・産後・数字コンテスト参加者数)については記載した。また、福島イノベーション・コースト構想の実現するための人材育成を図るとし、関係庁庁と連携し、ニーズを的確に把握するとともに、産科・産後の医療費の軽減及び高度先端技術講師による技術指導や講義の受講など、事業目的達成のため、引き続き効果的、効率的な予算の執行に努めていく。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)福島の教育力の向上に必要な経費 (事項)公立社会教育施設整備に必要な経費	復興庁	新30	-	0003	-	-	-	-	-	前年度新規			
政策名：2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり																																
施策名：1 確かな学力の育成																																
0042	福島県教育復興推進事業	H27	H32	74	74	66		現状通り	令和2年度の事業終了に向け、進捗管理を適切に行い、効果的、効率的な執行に努めること。	80	79	▲0	-	現状通り	引き続き、適切な執行に努めていく。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)確かな学力の育成に必要な経費	復興庁	-	0040	-	-	-	-	-	-	その他			
0043	放射線計測本の普及	H30	H32	179	179	178		現状通り	令和2年度の事業終了に向け、進捗管理を適切に行い、効果的、効率的な執行に努めること。	58	68	10	-	現状通り	放射線計測本の活用を通じて、全国の児童生徒等の放射線に関する科学的な知識の理解の促進を図るとし、引き続き効果的、効率的な予算の執行に努めていく。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)確かな学力の育成に必要な経費	復興庁	新30	-	0004	-	-	-	-	-	前年度新規			
福島原子力災害避難区域教育復興事業【30-0040の再掲】																																
施策名：2 豊かな心の育成																																
0044	緊急スクールカウンセラー等活用事業	H23	H32	2,450	2,450	2,440	対象外	現状通り	引き続き、ニーズを的確に把握し、効果的、効率的な執行に努めること。	2,378	2,219	▲159	-	現状通り	被災した児童生徒等の心のケアの充実を図り、安心して学校生活を送ることができるよう、引き続き効果的、効率的な予算の執行に努めていく。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)豊かな心の育成に必要な経費	復興庁	-	0041	-	-	-	-	-	-	平成30年度対象			
施策名：5 安全・安心で豊かな学校施設の整備推進																																
公立学校施設改善復旧費【30-0038の再掲】																																
公立社会教育施設改善復旧事業【30-0039の再掲】																																
福島原子力災害避難区域教育復興事業【30-0040の再掲】																																
施策名：6 教育機会の確保のための支援づくり																																
0045	被災地通学バス等購入費補助	H24	H32	34	34	20		現状通り	執行率の改善がみられない。自治体のニーズおよび、関係自治体における復興に向けた進捗状況の把握につなぐ、予算の適正化を図ること。	31	57	26	-	執行等改善	平成30年度は大型バスを検討していた自治体の復興の状況が考慮し小型バスに切り替えたことにより、バス購入費が当初見込みより低額となったため執行率が低減となったが、関係自治体の復興の進捗が改善することを踏まえ、引き続き効果的、効率的な予算の執行に努めていく。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)教育機会の確保に必要な経費	復興庁	-	0042	-	-	-	-	-	-	その他			
0046	被災児童生徒放課後学習支援等事業	H27	未定	5,217	5,217	4,680	対象外	現状通り	引き続き、ニーズを的確に把握し、効果的、効率的な執行に努めること。	4,382	3,150	▲1,232	-	現状通り	東日本大震災により経済的理由から就学が困難となった世帯の幼児児童生徒に放課後学習支援を要請し、もって教育機会の確保に努めるとし、引き続き効果的、効率的な予算の執行に努める。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)教育機会の確保に必要な経費	復興庁	-	0043	-	-	-	-	-	平成30年度対象				
政策名：3 義務教育の健全均等と水準の維持向上																																
施策名：1 義務教育に必要な教職員確保																																
0047	義務教育員団庫員に必要経費	H24	未定	1,883	1,883	1,841	対象外	現状通り	引き続き、ニーズを的確に把握し、効果的、効率的な執行に努めること。	1,777	1,599	▲178	-	現状通り	引き続き効果的、効率的な予算の執行に努めていく。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)義務教育員団庫員に必要経費	復興庁	-	0044	-	-	-	-	-	-	平成30年度対象			
政策名：4 個性が輝く高等教育の展開																																
施策名：1 大学などにおける教育研究の質の向上																																
0048	国立大学施設改善復旧費等	H26	H30	-	261	261	対象外	終了予定	事業の検証を行い、知見や成果の活用を図ること。	-	0	-	-	予定通り終了	当初計画に基づき、平成30年度をもって執行を終了している。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)東日本大震災復興国立大学法人施設整備費 (事項)東日本大震災復興に係る国立大学法人施設整備に必要な経費	復興庁	-	0045	-	-	-	-	-	平成29年度対象				
0049	大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業	H30	H32	150	150	130		現状通り	平成30年度予算における本事業の執行率は必ずしも十分なものとはいえないので、平成31年度以降の大幅に増加した予算の執行率が適切なものとなるよう留意すること。	403	500	97	-	現状通り	引き続き、ニーズを的確に把握し、効果的、効率的な執行に努める。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)大学等における教育改善に必要な経費	復興庁	新30	-	0005	-	-	-	-	-	前年度新規			
施策名：2 大学などにおける教育研究基礎の整備																																
国立大学施設改善復旧費等【30-0048の再掲】																																
政策名：5 奨学金制度による意欲・能力のある個人への支援の推進																																
施策名：1 意欲・能力のある学生に対する奨学金事業の推進																																
0050	育英事業に必要な経費(育英資金貸付金)	H24	H30	128	128	128		終了予定	事業の検証を行い、知見や成果の活用を図ること。	-	0	-	-	予定通り終了	東日本大震災により被災した世帯の学生等が経済的理由により進学等を断念するおそれがないよう、引き続き奨学金事業の推進に努める。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)育英事業に必要な経費	復興庁	-	0046	-	-	-	-	-	-	その他			
政策名：6 私学の振興																																
施策名：1 特色ある教育研究を展開する私立学校の振興																																
0051	私立大学等経費補助	H24	H32	1,179	1,179	1,087	対象外	現状通り	引き続き、ニーズを的確に把握し、効果的、効率的な執行に努めること。	715	504	▲211	-	現状通り	被災した私立学校において教育活動の円滑かつ迅速な再開、震災前の教育環境の確保・確保を図るという事業目的の達成のため、引き続き効果的、効率的な予算の執行に努めていく。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)私立学校の振興に必要な経費	復興庁	-	0047	-	-	-	-	-	平成29年度対象				
0052	私立高等学校等経費助成費等補助	H24	H32	109	109	0	対象外	現状通り	引き続き、ニーズを的確に把握し、効果的、効率的な執行に努めること。	38	123	85	-	現状通り	被災した私立学校において教育活動の円滑かつ迅速な再開、震災前の教育環境の確保・確保を図るという事業目的の達成のため、引き続き効果的、効率的な予算の執行に努めていく。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)私立学校の振興に必要な経費	復興庁	-	0048	-	-	-	-	-	平成29年度対象				
0053	私立学校施設改善復旧(私立大学等)	H25	H32	329	235	7	対象外	現状通り	引き続き、進捗管理を適切に行い、効果的、効率的な執行に努めること。	117	373	256	-	現状通り	引き続き、効果的、効率的な予算の執行に努めていく。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)私立学校の振興に必要な経費	復興庁	-	0049	-	-	-	-	-	平成30年度対象				
0054	私立学校施設事務経費	H25	H32	0	0	-	対象外	現状通り	引き続き、進捗管理を適切に行い、効果的、効率的な執行に努めること。	0	0	0	-	現状通り	引き続き、効果的、効率的な予算の執行に努めていく。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)教育・科学技術等復興政策費 (事項)私立学校の振興に必要な経費	復興庁	-	0050	-	-	-	-	-	平成29年度対象				
政策名：7 インノベーション創出に向けたシステム改革																																
施策名：1 産学官における人材・知・資金の好循環システムの構築																																
政策名：8 科学技術イノベーションの基礎的な力の強化																																
施策名：2 インノベーションの事業としての学術研究と基礎研究の推進																																
国立大学施設改善復旧費等【30-0048の再掲】																																
政策名：9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応																																
施策名：1 未来社会を見据えた先端基礎技術の強化																																
0055	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構運営費交付金に必要経費	H25	H32	332	332	332	対象外	現状通り	引き続き、進捗管理を適切に行い、効果的、効率的な執行に努めること。	335	335	-	-	現状通り	原子力災害からの環境回復を図るとし、期待がもたらされる必要経費の確保のため、引き続き効果的、効率的な予算の執行に努める。	文部科学省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)東日本大震災復興国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構運営費交付金に必要経費	復興庁	-	0051	-	-	-	-	-	平成30年度対象				

様式1

別添1

※平成31年度以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

(単位：百万円)

Table with columns for project name, budget, status, and funding source. Includes sections for disaster response, sports promotion, and disaster prevention.

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成30年度			外部有識者の意見	行政事業レビュー推進チームの所見			令和01年度 当初予算額 A	令和02年度 要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部署	会計区分	項・事項	平成30年度レポート番号				外部有識者点検対象 (公認プロフェッショナル を対称とする場合、理 由を記載)	委託 費等	補助 金等	基金										
				執行 可能額	執行額	評価結果		所見の概要	反映額	反映内容				1つ目						2つ目								3つ目				3つを超える場合					
														1	2					3	4	1	2					3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
施策名：(7) 気候変動に対する緩和・適応策の推進及び生物多様性の保全・利用																																					
山形県地域整備交付金【後掲(30-0119)】																																					
施策名：(8) 農業の自然循環機能の維持増進とコミュニケーション																																					
福島県農林水産業再生総合事業【30-0085の再掲】																																					
施策名：3. 農村の振興																																					
施策名：(1) 地域コミュニティ機能の発揮等による地域資源の維持・継承等																																					
山形県地域整備交付金【後掲(30-0119)】																																					
施策名：4. 森林の有する多面的機能の発揮と林業・木材産業の持続的かつ健全な発展																																					
施策名：(1) 森林の有する多面的機能の発揮																																					
0098	安全な木材製品等流通管理調査・検証事業	H24	未定	704	704	704	32年度の事業終了に向け、進捗管理を適切に行い、効果的・効率的な執行に努めること。また、一斉点検について改善につとめること。	現状通り	引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	102	102	-	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産業復興政策費 (事)林産物供給等復興対策に必要な経費	復興庁	-	0094	-	-	-	-	-	-	その他	○							
0099	放射線物質対策型森林・林業再生総合対策事業	H24	未定	3,185	3,570	3,212	対象外	現状通り	事業終了に向けて、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	3,154	3,142	▲11	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)森林整備・保全に必要な経費 (事)環境保全復興政策費 (事)放射線物質による環境汚染への対応に必要な経費	復興庁	-	0095	-	-	-	-	-	-	平成30年度対象	○							
0100	治山事業(直轄)	H24	H32	3,214	3,025	2,758	対象外	現状通り	事業終了に向けて、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	1,632	966	▲666	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、事業終了に向けて適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)東日本大震災復興政策費 (事)治山事業に必要な経費	復興庁	-	0096	-	-	-	-	-	平成30年度対象	○								
0101	治山事業(補助)	H24	H32	6,744	8,330	8,294	対象外	現状通り	事業終了に向けて、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	5,371	3,952	▲1,419	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、事業終了に向けて適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)東日本大震災復興政策費 (事)治山事業に必要な経費	復興庁	-	0097	-	-	-	-	-	平成29年度対象	○								
0102	森林整備事業(直轄)	H25	H32	2,265	2,337	2,223	対象外	現状通り	事業終了に向けて、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	2,254	2,254	-	-	現状通り	事業終了に向けて、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)東日本大震災復興政策費 (事)森林整備事業に必要な経費	復興庁	-	0098	-	-	-	-	-	平成30年度対象	○								
0103	森林整備事業(補助)	H24	H32	3,545	3,475	3,474	対象外	現状通り	事業終了に向けて、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	3,759	3,869	110	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、事業終了に向けて適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)森林整備事業に必要な経費	復興庁	-	0099	-	-	-	-	-	平成29年度対象	○								
0104	森林整備事業(国研)	H24	H32	505	535	535	対象外	現状通り	事業終了に向けて、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	514	514	-	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、事業終了に向けて適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)森林整備事業に必要な経費	復興庁	-	0100	-	-	-	-	-	平成29年度対象	○								
山形県地域整備交付金【後掲(30-0119)】																																					
施策名：(2) 林業の持続的かつ健全な発展																																					
0105	特殊林産物施設整備復興事業	H24	H32	887	911	830	毎年締結が発生している。ニーズを的確に把握するとともに、生産原材の供給量についても把握し、予算規模の適正化をはかること。効果的・効率的な執行に努めること。	現状通り	的確なニーズ把握に努め、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	903	903	-	-	現状通り	各地域における原木供給状況の把握の精進を図るとともに、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)林業復興対策に必要な経費	復興庁	-	0101	-	-	-	-	-	その他	○								
0106	災害復旧関係金具子ども助成事業	H24	未定	51	51	51	執行額が減少している。被災直後からの変化を踏まえ、的確にニーズを把握し、予算の適正化をはかること。終期についても検討すること。	現状通り	的確なニーズ把握に努め、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	48	41	▲8	-	現状通り	事業の執行状況及び今後のニーズを的確に把握した上で、適切な予算規模及び精確な検討とともに、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めること。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)林業復興対策に必要な経費	復興庁	-	0102	-	-	-	-	-	その他	○								
0107	震災復興林業作業システム導入支援事業	H24	H32	359	359	359	対象外	現状通り	引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	245	137	▲107	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、事業終了に向けて適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)林業復興対策に必要な経費	復興庁	-	0103	-	-	-	-	-	平成30年度対象	○								
施策名：(3) 林産物の供給及び利用の確保																																					
0108	放射線物質検査林産物処理支援事業	H25	未定	386	386	309	対象外	現状通り	事業終了に向けて、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	343	317	▲26	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、事業終了に向けて適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)林産物供給等復興対策に必要な経費	復興庁	-	0105	-	-	-	-	-	平成29年度対象	○								
0109	木材加工施設建設等復旧対策事業	H26	H32	-	-	-	毎年執行額が0である。ニーズを的確に把握し、予算規模の適正化をはかること。	現状通り	毎年の執行が計画であることを見まえ、予算要求に当たっては事業規模の精査を行うこと。	59	59	-	-	現状通り	平成26年度以降避難指示が解除になった区域において、一部の事業者は事業再開に向けて費用等の確保を急務として検討を行っているところであり、福島県と連携し、事業再開に向けた事業の検討が加速するよう引き続き支援してまいりたい。予算額については、事業再開の遅延が発生した場合の必要と見られる金額として、1.2億(1.2億)を想定(今年度予算は昨年度に比して17億円削減)。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)林産物供給等復興対策に必要な経費	復興庁	-	0106	-	-	-	-	-	その他	○								
施策名：5. 水産物の安定供給と水産業の健全な発展																																					
施策名：(1) 水産資源の回復																																					
0110	漁場復旧対策支援事業	H24	H32	713	713	523	令和2年度の事業終了に向け、ニーズを的確に把握することによって、真に互恵の取極に必要な予算規模の確保に努めること。	現状通り	的確なニーズ把握に努め、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	582	420	▲162	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)水産資源回復対策に必要な経費	復興庁	-	0107	-	-	-	-	-	その他	○								
0111	被災海域における種苗放流支援事業	H24	H32	775	775	506	対象外	現状通り	執行額が低いことを踏まえ、予算要求に当たっては事業規模の精査を行うこと。事業終了に向けて、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	714	700	▲14	-	現状通り	事業の執行状況から不用意の要望を分析の上、適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)水産資源回復対策に必要な経費	復興庁	-	0108	-	-	-	-	-	平成29年度対象	○								
0112	放射線物質影響調査推進事業	H24	H32	302	302	249	対象外	現状通り	事業終了に向けて、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	327	317	▲10	-	現状通り	令和元年度概算要求において、これまでの予算の執行率を踏まえ、対前年度から予算額を減額したところであり、引き続き、適切な予算規模について精査しつつ、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)水産資源回復対策に必要な経費	復興庁	-	0109	-	-	-	-	-	平成30年度対象	○								
0113	水産業共同利用施設復旧整備事業	H24	H32	1,208	2,350	1,897	補給は改善がみられる。本件事業の執行率は必ずしも十分なものとはいえないので、予算規模の適正化を図るとともに、令和2年度の事業終了に向け適切な進捗管理を行う。	現状通り	引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	997	1,062	65	-	現状通り	引き続き、予算の適正な執行に努めるとともに、事業規模の適正化や効率化を図りながら事業を実施する。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)水産強化対策に必要な経費	復興庁	-	0110	-	-	-	-	-	その他	○								
福島県農林水産業再生総合事業【30-0085の再掲】																																					
施策名：(2) 漁業経営の安定																																					
0114	共同利用施設等復旧支援対策事業	H24	H32	378	228	106	対象外	現状通り	事業終了に向けて、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	116	278	162	-	現状通り	引き続き、予算の適正な執行に努めるとともに、コスト削減や効率化を図りながら事業を実施する。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)漁業経営安定対策に必要な経費 (事)養殖施設改善等に必要経費	復興庁	-	0112	-	-	-	-	-	平成29年度対象	○								
0115	漁業者・漁協等への無利子・無担保・無保証人融資事業	H24	H32	1,889	1,889	1,584	震災直後からの変化を踏まえ、ニーズを的確に把握し、予算の適正化をはかること。令和2年度の事業終了に向け、効果的・効率的な執行に努めること。	現状通り	的確なニーズ把握に努め、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	1,704	1,754	50	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)漁業経営安定対策に必要な経費	復興庁	-	0113	-	-	-	-	-	その他	○								
0116	漁業経営体質強化機器設備導入支援事業	H24	H32	66	66	66	執行額は下がっており、震災直後から改善化を踏まえ、ニーズを的確に把握し、予算の適正化をはかること。令和2年度の事業終了に向け効果的・効率的な執行に努めること。	現状通り	的確なニーズ把握に努め、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。	105	68	▲37	-	現状通り	事業の執行状況を勘案し、事業終了に向けて適切な予算規模について精査しつつ、引き続き、効果的・効率的な予算の執行に努めていく。	農林水産省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)農林水産復興政策費 (事)漁業経営安定対策に必要な経費	復興庁	-	0115	-	-	-	-	-	その他	○								
放射線物質影響調査推進事業【30-0112の再掲】																																					
水産業共同利用施設復旧整備事業【30-0113の再掲】																																					
施策名：(3) 漁村の健全な発展																																					

※平成31年度以降の表記は、新元号に換えることとする。

(単位：百万円)

Table with columns: 事業番号, 事業名, 事業開始年度, 事業終了(予定)年度, 平成30年度 予算額, 平成30年度 執行額, 外部関係者の意見, 行政事業レビュー推進チームの所見, 令和01年度 当初予算額, 令和02年度 要求額, 差引き, 反映額, 反映状況, 備考, 担当部署, 会計区分, 項・事項, 平成30年度レビューシート番号, 外部関係者点検対象(公開プロセスメモ) 添付理由となる場合、理由を記載, 委託費, 補助金等, 基金. Rows include various projects like '復興水産加工業等振興回復促進事業' and '水産基盤整備事業'.

様式1

別添1

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

(単位：百万円)

Table with columns for project details, financial data, and implementation status. Includes sub-sections for 'Energy & Environment' and 'Disaster Recovery'.

様式1

別添1

※平成31年度以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成30年度			外部有識者の所見		行政事業レビュー進捗チームの所見		令和01年度 当初予算額 A	令和02年度 要求額 B	差引き B-A=C	反映状況		備考	担当部署	会計区分	状況	項・事項	平成30年度レビューシート番号				外部有識者点検対象 (公認プロフェッショナル) の対応となる場合、理由を記載	委託費	補助金等	基金		
				執行可能額	執行額	対象外	評価結果	所見の概要	反映額	反映内容				1つ目	2つ目						3つ目	3つを超える場合								
政策名：3-6. 東日本大震災への対応（環境モニタリング対策）																														
0154	環境モニタリング調査	H24	未定	537	537	427	執行率が毎年9割程度であり、事業を精査し、予算規模の適正化をはかること	現状通り	放射線物質の情報を的確に把握し、国民に正しい情報を提供することは、環境回復の状況把握、国民の安心の確保に資する必要性の高い事業である。一方で、毎年の執行率が9割程度で推移していることから、事業を精査し、予算規模をより適正化する必要がある。	500	492	▲17	-	現状通り	引き続き、放射線物質の情報を的確に把握し、国民に正しい情報を提供することにより、被災地周辺の環境回復の状況把握、国民の安心の確保に資する必要性の高い、効果的な予算執行に努めている。なお、令和2年度の予算案については、事業の精査を行い、予算規模の適正化を図った。	環境省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)環境保全復興助成費 (事項)環境モニタリング調査に必要な経費	復興庁	- 0153	-	-	-	-	-	その他	○		
政策名：4. 廃棄物・リサイクル対策の推進																														
政策名：4-7. 東日本大震災への対応（災害廃棄物の処理）																														
0155	災害廃棄物処理代行事業	H24	H32	3,309	4,114	3,432	対象外	現状通り	令和2年度での事業終了に向け、引き続き適切な進捗管理を行い、効果的・効率的な執行に努めること。支出先の選定に当たっては、引き続き競争性を確保する取組を行うこと。	2,219	8,246	6,027	-	現状通り	令和2年度の事業の完了に向け、引き続き効果的・効率的な予算の執行に努めている。	環境省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)環境保全復興助成費 (事項)廃棄物・リサイクル対策の推進に必要な経費	復興庁	- 0155	-	-	-	-	平成30年度対象				
0156	循環型社会形成推進交付金	H24	H32	24,893	25,365	22,802	令和2年度までに70件を完了するという目標を、約率的に達成できるよう工夫すること	現状通り	令和2年度での事業終了に向け、事業内容や事業費を精査する必要がある。地方公共団体と連携しながら事業の進捗管理を徹底するとともに、引き続き競争性に留意しつつ予算の執行に努めること。	25,552	30,708	5,156	-	現状通り	令和2年度の事業の完了に向け、事業内容や事業費の精査に努め、引き続き効果的・効率的な予算の執行に努めている。	環境省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)東日本大震災復興事業費 (事項)廃棄物処理施設整備に必要な経費	復興庁	- 0156	-	-	-	-	その他	○			
政策名：5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進																														
政策名：5-6. 東日本大震災への対応（自然環境の復旧・復興）																														
0157	福岛県内各区域等における鳥獣捕獲等緊急対策事業	H25	H32	416	416	265	対象外	現状通り	令和2年度での事業終了に向け、引き続き関係省庁や地方公共団体と連携を密にし、適切な進捗管理を行い、効果的・効率的な執行に努めること。支出先の選定に当たっては、引き続き競争性を確保する取組を行うこと。	418	418	▲0	-	現状通り	令和2年度の事業の完了に向け、引き続き関係省庁、福島県、関係市町村と連携し、効果的・効率的な予算の執行に努めている。また、支出先の選定に当たっては、入札公開期間を長めに設定するなど、競争性の確保に努める。	環境省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)環境保全復興助成費 (事項)生物多様性の保全等の推進に必要な経費	復興庁	- 0157	-	-	-	-	平成30年度対象	○			
0158	三陸復興国立公園等復興事業	H24	H32	544	758	726	令和2年度での事業の終了に向け、引き続き適切な進捗管理を行い、効果的・効率的な執行に努めること。	現状通り	令和2年度での事業の終了に向け、引き続き適切な進捗管理を行い、効果的・効率的な執行に努めること。	881	226	▲656	-	現状通り	令和2年度の事業の完了に向け、引き続き効果的・効率的な予算の執行に努めている。	環境省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)東日本大震災復興事業費 (事項)自然公園等事業に必要な経費	復興庁	- 0158	-	-	-	-	その他	○			
政策名：10. 放射性物質による環境の汚染への対応																														
政策名：10-1. 放射性物質により汚染された廃棄物の処理																														
0159	放射性物質汚染廃棄物処理事業	H24	未定	117,449	119,742	88,011	必要性の高い事業であると思われながら、執行率が低く（平成30年度ではやや改善が見られる）、規模が大きいため、引き続き、事業の精査を行い予算の適正化をはかること。適切な進捗管理を行い、効果的・効率的な執行に努めること。また、支出先の選定に当たって公平な競争が確保されるよう十分に配慮すること。	現状通り	昨年度より改善がみられたが、多額の繰越と不用品発生していることから、予算案に当たっては引き続き事業規模の精査を行い、適切な進捗管理を行うこと。支出先の選定に当たっては、引き続き競争性を確保する取組を進めようとする。	105,383	104,621	▲762	-	現状通り	令和2年度案に当たっては、事業規模の精査を行った上で、事業の進捗を踏まえた予算案を提案する。また、支出先の選定に当たっては、引き続き競争性を確保する取組を進めようとする。	環境省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)環境保全復興助成費 (事項)放射性物質による環境の汚染への対応に必要な経費 (項)環境保全復興事業費 (事項)放射性物質による環境の汚染への対応に必要な経費	復興庁	- 0159	-	-	-	-	その他	○	○		
政策名：10-2. 放射性物質汚染対策施設等に基づく除染等の措置等																														
0160	除去土壌等の適正管理・搬出等の実施	H24	未定	121,212	161,046	114,060	対象外	現状通り	昨年度より改善がみられたが、多額の繰越が出ている。また執行率も低下している。事業の精査を行い、予算の適正化をはかること。適切な進捗管理を行い、効果的・効率的な執行に努めること。	119,686	54,035	▲64,651	-	現状通り	事業の進捗状況も踏まえ、予算の適正化をはかった。なお、効果的・効率的な執行と競争性を確保する。	環境省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)環境保全復興助成費 (事項)放射性物質による環境の汚染への対応に必要な経費	復興庁	- 0160	-	-	-	-	平成29年度対象	○	○		
0161	中間貯蔵施設の整備等	H24	未定	218,091	176,430	167,519	・入札の競争性、公平性を高めるために、やり方や説明の仕方さらに工夫が必要であるが、引き続き事業を強力に推進すべき。 ・契約毎に価格の妥当性の検証を厳行願いたい。	現状通り	執行率が改善したが、繰越額が増している。事業の精査を行い予算の適正化をはかること。執行にあたっては、適切な額となるよう、競争を厳しくし、支出先の選定に当たっては、引き続き競争性、公平性を高める取組を進めようとする。	208,127	561,156	353,029	-	現状通り	執行についても適切な額となるよう、競争を厳しくし、支出先の選定に当たっては、引き続き競争性、公平性を高める取組を進めようとする。	環境省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)環境保全復興助成費 (項)環境保全復興事業費 (事項)放射性物質による環境の汚染への対応に必要な経費	復興庁	- 0161	-	-	-	-	平成29年度対象	○			
0162	特定復興再生拠点整備事業	H29	未定	69,037	26,756	24,169	対象外	現状通り	繰越額が増加している。適切な進捗管理を行い、効果的・効率的な執行に努めること。	86,941	70,791	▲16,150	-	現状通り	引き続き効果的・効果的な予算の執行に努めている。	環境省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)環境保全復興助成費 (事項)廃棄物・リサイクル対策の推進に必要な経費	復興庁	- 0162	-	-	-	-	平成30年度対象	○			
政策名：原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守ること																														
政策名：原子力災害対策及び放射線モニタリングの充実																														
0163	原子力被災者環境放射線モニタリング対策関連交付金	H25	未定	800	800	800	対象外	現状通り	引き続き、地方公共団体と連携してニーズの把握に努め、予算の適正化をはかること。	800	800	-	-	現状通り	福島県及び関係自治体との担当会議等を行い、最適なモニタリングに努めることで、予算の適正化を図っている。	原子力規制委員会において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)環境保全復興助成費 (事項)原子力の安全確保に必要な経費	復興庁	- 0163	-	-	-	-	平成30年度対象	○	○		
0164	放射性物質汚染状況監視等調査研究に必要な経費	H24	未定	1,344	1,344	1,256	対象外	現状通り	執行率が毎年9割程度であり、事業を精査し、予算規模の適正化をはかること。	1,327	1,226	▲92	-	現状通り	事業の必要性を精査し、予算規模を見直し、さらなる適正化を図っている。	原子力規制委員会 農林水産省 において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)環境保全復興助成費 (事項)原子力の安全確保に必要な経費	復興庁	- 0164	-	-	-	-	平成29年度対象	○			
0165	環境放射線測定等に必要な経費	H25	未定	1,118	1,118	948	対象外	現状通り	事業の完了に向け、引き続き、地元との調整を丁寧に行うこと。その上で効果的・効果的な執行に努めること。	1,137	1,086	▲51	-	現状通り	事業の完了にあたっては、地元との調整を丁寧に行う。また、効果的・効果的な予算の執行に努めている。	原子力規制委員会において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)環境保全復興助成費 (事項)原子力の安全確保に必要な経費	復興庁	- 0165	-	-	-	-	平成30年度対象	○			
政策名：1. 総合的な防衛体制を構築し、各種事態の抑止・対応のための体制を強化																														
政策名：(1) 周辺高空域における安全確保																														
0166	被災した装備品の復旧	H25	H30	-	416	416	対象外	終了予定	事業終了は適当である。	-	0	-	-	予定通り終了	-	防衛省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)防衛復興助成費 (事項)航空機の整備維持に必要な経費	復興庁	- 0166	-	-	-	-	平成29年度対象				
政策名：(2) 島嶼部に対する攻撃への対応																														
被災した装備品の復旧【後掲(30-0166)】																														
政策名：(5) 大規模災害等への対応																														
被災した装備品の復旧【後掲(30-0166)】																														
いずれの施策にも関連しないもの																														
0167	国有財産等の除染	H26	H31	-	-	-	対象外	現状通り	事業の終了に向け、引き続き、適切な進捗管理を行い、効果的・効果的な執行に努めること。	1	0	▲1	-	予定通り終了	当該事業は、令和元年度で終了する予定であるため、令和2年度の要求は行わない。	法務省、財務省、文科省、厚労省、農水省、国土交通省、防衛省において執行	復興庁	東日本大震災復興特別会計	(項)環境保全復興助成費 (事項)放射性物質による環境の汚染への対応に必要な経費	復興庁	- 0167	-	-	-	-	平成29年度対象				
行政事業レビュー対象 計																														
				-	-	-	一般会計				-	0	-	-																
				1,511,431	1,631,837	1,461,709	東日本大震災復興特別会計				1,461,643	1,676,018	214,375	▲1,211																
				-	-	-	一般会計				-	0	-	-																
行政事業レビュー対象外 計																														
				-	-	-	一般会計				-	-	-	-																
				14,638	14,490	13,088	東日本大震災復興特別会計				16,403	15,777	▲626																	
				-	-	-	一般会計				-	0	-	-																

様式1

別添1

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

(単位：百万円)

事業番号	事業名	事業開始年度	事業終了(予定)年度	平成30年度		外部有識者の所見	行政事業レビュー推進チームの所見			反映状況		備考	担当部署	会計区分	項・事項	平成30年度レビューシート番号				外部有識者点検対象(公開プロセスマネジメント対象となる場合、理由を記載)	委託費	補助金等	基金			
				平成30年度補正後予算額	執行可能額		執行額	評価結果	所見の概要	令和01年度当初予算額	令和02年度要求額					差引き	反映額	反映内容	1つ目					2つ目	3つ目	3つを超える場合
				A	B		C	A	B	A=C																
				-	-	-		一般会計	-	0	-															
	合 計			1,526,069	1,646,327	1,474,797		東日本大震災復興特別会計	1,478,046	1,691,795	213,749															
									-	0																

- 注1. 該当がない場合は「-」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。
- 注2. 「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。
- 注3. 「反映内容」欄の「廃止」、「縮減」、「執行等改善」、「年度内に改善を検討」、「予定通り終了」、「現状通り」の考え方については、次のとおりである。
- 「廃止」：平成31年度の点検の結果、事業を廃止し平成32年度予算概算要求において予算要求を行わないもの（前年度終了事業等は含まない。）
 - 「縮減」：平成31年度の点検の結果、見直しが行われ平成32年度予算概算要求において何らかの削減を行うもの（事業の見直しを行い、部分的に予算の削減を行うもの、事業全体としては概算要求額が増加する場合も含む。）
 - 「執行等改善」：平成31年度の点検の結果、平成32年度予算概算要求の金額に反映は行わないもの、明確な廃止年限や執行等の改善を行うもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。）
 - 「年度内に改善を検討」：平成31年度の点検の結果、平成32年度予算概算要求の金額に反映は行わないもの、平成31年度末までに執行等の改善を検討しているもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものは含まない。）
 - 「予定通り終了」：前年度終了事業等であって、予定通り事業を終了し平成32年度予算概算要求において予算要求しないもの。
 - 「現状通り」：平成31年度の点検の結果、平成32年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がないもの（廃止、縮減、執行等改善、年度内に改善を検討及び予定通り終了以外のもの）
- 注4. 予備費を使用した場合は「備考」欄にその旨を記載するとともに、金額を記載すること。
- 注5. 「外部有識者点検対象」欄については、平成31年度行政事業レビューの取組において外部有識者の点検を受ける場合は下記の基準に基づき、「前年度新規」、「最終実施年度」、「行革推進会議」、「継続の是非」、「その他」のいずれかの選択理由を記載（行政事業レビュー実施要領第2部2（3）を参照）し、平成27年度、平成28年度、平成29年度又は平成30年度の行政事業レビューの取組において外部有識者の点検を受けたものは、それぞれ「平成27年度対象」、「平成28年度対象」、「平成29年度対象」、「平成30年度対象」と記載

- 「前年度新規」：前年度に新規に開始したもの。
- 「最終実施年度」：当該年度が事業の最終実施年度又は最終目標年度に当たるもの。
- 「行革推進会議」：前年のレビューの取組の中で行政改革推進会議による意見の対象となったもの。
- 「継続の是非」：翌年度予算の概算要求に向けて事業の継続の是非等を判断する必要があるもの。
- 「その他」：上記の基準には該当しないが、行政事業レビュー推進チームが選定したもの。